

## 報告：原発問題をめぐる全体状況

@第91回脱原発八千代ネットワーク定例会

2020年7月25日 川井康郎

### 1. フクシマの状況

- (1) 国（経産省）は溜まった ALPS 処理汚染水（現在、約 120 万トン）の海洋放出を画策中。福島県内各地で各界からの意見聴取会を開催（これまでに 5 回）しているが、否定的あるいは慎重な意見が多数。一方、全漁連や地元の市町村議会が次々に海洋放出反対の声明を発表。一般からのパブコメ期限は 3 回目の延長で 7/31 まで。

### 2. 原子力規制と再稼働の動き

- (1) 稼働状況：運転中 4 基（大飯④、高浜④、玄海③④）。定期点検中 2 基（高浜③、大飯③）。特重施設設置期限による停止 2 基（川内①②）、仮処分による停止 1 基（伊方③）。全体では、

@事故前 54 基 ⇒稼働 9 + 合格 6 + 審査中 10 + 未申請 8 + 廃炉 21

- (2) 7/2 東海第二原発の差し止め訴訟水戸地裁にて結審、判決は来年 3/18 予定。

- (3) 7/16 停止中の川内原発 1 号機にて制御棒が一本曲がっているのを発見。原因は調査中と。（全部で 24 本/体 × 48 体）

- (4) 規制委員会は六ヶ所再処理工場の新規制基準合格を 7/29 に正式決定の見込みと（6/13 まで審査書案へのパブコメを募集していたもの）。しかし、稼働の見通し

はない。また、田中俊一前規制委員長はインタビューに対して「安全確保の難しい企業体質である」「核燃サイクルの理念は破綻している」と。

- (5) 7/14 日本原燃による放射性廃棄物（変形燃料集合体、高レベル廃液ガラス破片等）の 19 年間にわたる不適切保管が発覚。



### 3. その他のトピックス

- (1) 7/12 鹿児島知事選は塩田康一氏（無）が初当選。現職の三反園訓氏、前職の伊藤祐一郎氏、護憲・反原発の横山富美子氏は共に敗れる。塩田新知事は川内原発について県民投票も検討と発言。

- (2) 7/3 政府は 2030 年までに旧式石炭火力約 100 基を停止する方針と。しかし、高効率の新設は続け、エネ基本計画の 26%は維持。再エネ電源を増やさない限り、石炭、原発依存が続く。一方、ドイツでは 2038 年までに全ての石炭火力を廃止する法案を可決。

<以上>